

日本発ドイツ便り：変な一日（後編）

Regensburgから1時間ちょっとでNürnbergに着きました。次のBambergまでの列車の時間を調べると、約40分後。その間にホテルに荷物を置いて、市場に行ったら、ついうっかり真っ赤に熟れたイチゴと目が合っしまい購入。もう一度部屋に帰ってイチゴをかじり、また駅に向かいました。Bambergまでは電車で45分くらい。なんだかちょっと怪しい雲行きになってきました。（あ。天気の話です。）そんなこんなで世界遺産の街Bambergに到着。勝手知ったるこの街、駅前から街の中心行きのバスに飛び乗り（Bayem-Ticketはバスにも乗れます）街の中心へ。なんだか街の中が賑やかです。



普段の土曜日には八百屋さんや果物屋さん、肉屋さんなどの市が出ている広場に、買い食い系の屋台は出てるは、街角ではマジックや大道芸。広場にはステージもあって、なんだかお祭りみたいです。なんでもTag der Franken（ターク・デア・フランケン：フランケンの日）というお祭りとのこと。これを聞いて、あれ??このお祭り知ってる！この風景知ってる！デジャヴ？そうです。丁度1年前のフランケンの日にも、私はBambergで「このお祭りなんやろか？」と思っていたのです。不思議なこともあるものですね。



お馴染みの風景。丘の上に修道院が見えます。この丘の上からの街全体の風景はいつも絶品です。



レグニッツ河沿いの「小ヴェニス」と呼ばれる地区の風景。それぞれが個性的な家なのに、ちゃんと統一がとれているのが良い感じです。春～夏は船で観光も視点が変わっておもしろそうです。なんだか雨が降りそうだったので、ちょっと早めの夕食にして、どうしても行きたい所に先に行きました。「愛してやまない」という表現がぴったりのレストランというか居酒屋 Schlenkerla (シュレンケルラ)。いつも混んでいて大賑わいのお店です。料理が安くておいしくて、この街の名物 Rauchbier (ラオホビア：燻製ビール) の醸造所がやっているレストランです。私がビールをのむ練習を始めたもの、実はそもそもの理由が、この店でいっちょまえにビールを飲んでみたかったから。といっても過言ではありません。



ここです。この日も土曜日+お祭り+雨と条件が重なって、何部屋もあって、相当広いのに、店内は大賑わいの満席。グラス片手に入り口のところで立ち飲みしている人までいます。☺ (ドイツでは絶対飲むべしのビールの一つです) 席を探して、忙しげに飛び回るウェイトレスのお姉さんを捕まえて、助けを求めると、「あなた、前にも来たことあるね？」と。すごい記憶力ですね～。多分一人で来る日本人女性は珍しいのでしょうか。で、「付いといで！」と言われて、一緒にくっついていくと、「この子相席させてあげて！」と空いている席をうまく見つけてくれて、座ることができました。このお店、基本的にメニューは日替わり (10品目くらい) のみなので、メニューを見つつ、まずは、ビールを頼みます。今日頼んだのは、オリジナルの Rauchbier と Kalbhaxe (カルプハクセ：仔牛のすね肉のロースト)。



どどーん。と登場しました。相席の人達と Prost! (プロースト：乾杯) なんぞしてから、頂きます。ソースはもちろん、Rauchbier のソースです。ローストと言うからには、ちょっと堅そうなものを想像していましたが、ふんわり柔らかくて、香ばしくてジューシーで、絶品！思わず「お代わり！」したい美味しさでした。もちろん付け合わせのサラダ（生野菜＋酢漬け）は別皿に山盛りです。美味しい料理とビールとお店の良い雰囲気ですっかりいい気分です。☺

あとはぼちぼち観光でもして帰ろうか？と外に出ると、残念なことに、結構な雨が…。雨はどんどんひどくなりそうだったので、バス停まで急ぎます。が、週末の夜の悲しさ…。次のバスは1時間後！とのこと。結局、駅まで走って帰る羽目になってしまいました。

結局、Bamberg には晩御飯を食べにいっただけ、になってしまいましたが、その価値は十分ありました。そんなこんなで、お昼は Regensburg で、晩御飯は Bamberg と2つの世界遺産の街をはしごして、Bayern-Ticket を最大限活用したなんだか変な一日（それとも美食の一日？）になりました。（でも密かに、「この組み合わせ良いなあ」なんて思ってますから、またやっしまいそうです）

Nürnberg を拠点に、日帰りで行ける2つの素敵な街でした！（他にも私の「探検リスト」には行ってみたい Nürnberg 近郊の街がたくさん載っています…。またぼちぼち行ってみたいと思います）